

## はじめに

今月の報告書を何のために書くのかを考えた際、留学を少しでも考えている学生のための報告書にしたいと考えた。私自身、留学を考えていたから、報告書の存在を知っており、留学を考えていなかったら多分見ていない。そう考えた際、私が欲しかった情報は、お金の問題、こっちでの生活について（語学の壁、向こうで生きて行けるか）であったため、それを今月書いて行こうと思う。

※今月のテーマはあくまでもの推測であるため、この報告書を読まれて質問や意見(こういう事を書いてほしい)、メッセージ等がある方は

darenimoiimasenny@gmail.com

に是非メールを送って欲しいです。

## お金の件について

VISA の話や、保険、携帯、食費などの必要経費については、まとめた詳細を留学選考が決まる2月か1月に書こうと思うので、それを参考にしてほしい。今すぐ知りたい方は、工大の国際交流室にある情報(大まかな金額が書いてある物があります)で大丈夫である。

## こちらでの生活について

## 語学の壁について

私は全くといっていいほど英語ができない。TOEFL ITP のテストに至っても 340 点という奇跡的な点数の所持者である。例えるならば、のび太がドラえもん無しにジャイアンに喧嘩を挑んでいるようなものである。こんな奴が、留学をしているのだ。当たり前のように初めは英語が話せないし、英語を聞き取れないという問題が生じてしまっている。

## なぜ言葉の壁が生じるのか

単語力が無いからである。話せない原因にしてもリスニングの聞き取れない原因にしても、知らない単語ばかり並べられているから理解出来ないのが大半であり、知っていれば大体の話の流れは掴める。これはどこの言語でも言える事であると私はこちらに来てそう感じた。例えば、今私が普段一緒に行動している友人は韓国の人で彼はロシア語と韓国、英語と三ヶ国喋ることができる。彼が親や友人に電話かけている時はもちろん韓国語で、韓国語で喋っているときは呪文にしか聞こえない。だがある時、話しの途中で、Facebook、シャジンとケンチャナーというワードが聞き取る事が出来た。私はもしかして“Facebook に写真アップしたから大丈夫”と話しているのか?と考えてしまい、あまりにも気になってしまったので、何について話していたのかを聞いてしまった。すると彼は、

「こっちの生活は大丈夫だよ。友達も出来たし、Facebook に写真載っているから見てくれ。」

という内容であった。ほとんど正解じゃないか。と自分自身に驚いてしまった。だが、これは、ケンチャナーは大丈夫という意味という事は知っており、韓国語での写真という単語はシャジンと言っていたらしいがとても発音が似ていたから理解でき、聞き取れたのである。このように単語を知っていれば聞き取る事が出来る。私は、留学している人たちが、単語は重要って言っている意味がやっとわかった。

## 目標設計について

私は、留学前の目標は、語学、芸術的感性を磨く、プログラミングの技術を磨く、などの事を考えており、行けば、語学はもちろんの事、RIT は工学と芸術に強い学校であるため、芸術にあふれた世界が待っていると思っていた。ところが、6 月～9 月の間は夏休みであり、これでもかって言

っていいほど、RITの正規の学生が居ないのである。想像していたのと違い、根本的に計画が甘かった。

目標は抽象的じゃなくわかりやすく

芸術や、プログラミングについては学生が居ないため、9月から本格的に行うと考え、この3ヶ月間はとにかく語学中心に頑張ろうと考えた。今までは、“語学ができるようになる”といった抽象的な目標であったがそれだと何をしたらいいのかわからなかった。そのとき、どうなれば成功とするかと考えた。例えば、女の子とどこかに遊びに行く。という、いかにも男子が考えそうな目標を建てたと考え、女の子と遊ぶためにはまず話さないといけない。話すとなれば挨拶が必要であり、話しのネタも必要になってくる。次に、遊びに行く約束をする、どこで遊ぶか、待ち合わせ時間など色んな事が必要になってきて色々明確になってくる。それを語学学校で習った事を混ぜて、一つずつ変換し、実際に使っていく。そうする事によって目標達成するための道がわかりやすくなるのではないかと考えた。このように私は新たに目標を考え、あとはとにかく色々な人に話し使うということ。

実践に使ってみる

結論から言うと、伝わらない方が多いが少しは伝わる。伝わらない原因は、おどおど話しをしているからである。自分で文を作り、話しかけるも、自分自身で、“これあっているのかな?” “ヤバい、緊張する。”など考えてしまい、はっきり喋れていないのが原因だとわかった。だが、色々な人に話しかける事によって、英語の練習にはなるし、友達は増えるため、使ってみる事は凄く重要である。この挑戦は凄く役に立ったと私は考えている。

アメリカの洗礼

私は8月の長期休暇中にニューヨークシティに旅行に行った。その時外国人に“Do you want a Free CD?”と言われ、freeという甘い言葉とこれはお土産になると考え食いついた。そして彼らはCDに僕の名前とサインを書いてくれた。だが、次の瞬間である。彼らは“20\$20\$!!”と言って来た。これには驚き、私は“フリーのCDって言ったじゃないか!”と言うと、彼らは、SQUARE FREEのCDだと言い、FREEと言うのはアーティストの名前であったのである。これには一本とられてしまい泣く泣く20\$を支払ったのである。帰ってからCDを見るとSATUMUと書いてあり名前を間違えられていた。意外と高かった授業料。

3ヶ月経った今

こっちに来て色々な問題があるが、6月に比べると会話やライティング等は上達しており、友人であればコミュニケーションは取れるようになっている。だが、まだまだ、伝えたい事が伝えられない事、ネイティブスピーカーの会話は聞き取れない等、たくさん問題はある。だが、今は凄く楽しく生活しています。9月からは新学期も始まるのでここでしか出来ない事をモットたくさんして行こうと思う。